



みんなかがやく！（江東区教育委員会テーマ）

ブリリアンス Next Stage 第5号

～ありのままに今を輝く～

江東区立南砂中学校だより



校長 近藤 啓太

「ドラえもん」と生成AI ～便利さの先にあるもの～ (AIについて No.1)

江東区では、中学生もGemini(生成AI)を正式に活用する制度やルールが整備されました。本校でも8日の朝会と学活の中で、生成AIのメリットやデメリット、使用上の注意点や活用方法について指導を行いました。

24時間いつでも質問に答えてくれ、文章の作成や調べ学習も手伝ってくれる。優秀な家庭教師がいつも隣にいます。しかし、便利だからこそ、私たちは一度立ち止まって考えてみる必要があります。

「この便利さと引き換えに、失ってしまうものはないだろうか」という問いです。

ここで思い出すのが『ドラえもん』です。のび太くんは困るとすぐにドラえもんに助けを求め、秘密道具で問題を解決してもらいます。しかし、調子によって最後にはもっと大きな失敗につながります。もし現代にのび太くんがいたら、こんな会話になるかもしれません。

「宿題？ AIに聞けばいいや」「読書感想文？ AIが書いてくれるよ」
「自分で考えるのは時間がかかるから、とりあえずAIにお願いしよう」

近年、「^{にんちふさい}認知負債」という考え方が言われます。「負債」とは借金のことです。

AIに考える作業を任せると、その瞬間は楽になります。ところが、本来自分で考えることで育つはずだった思考力や判断力、粘り強く考え抜く力は蓄積されません。毎日エスカレーターばかり使っているうちに、階段を上る体力が落ちてしまうようなものです。今は楽になったように見えても、便利さを「借金」のように積み重ねていくと、いざ自分で考えなければならぬ場面で、本当に困ることになります。

勉強の価値は、「答えを知る」ことだけではありません。「分からなくて悩む」こと、「試行錯誤すること」、「間違えてやり直す」こと、「友達と意見を交わす」こと—その過程そのものが学びです。数学の問題を解く途中で頭を抱えた時間も、作文の書き出しに悩んだ時間も、すべては脳の大切なトレーニングです。だからこそ、生成AIは「代わりに考えてもらう道具」ではなく、「自分の思考を深めるための道具」として使うことが大切です。

- 「答えを教えて」ではなく、「考えるヒントを教えて」
- 「文章を書いて」ではなく、「もっとよくするためのアドバイスをちょうだい」
- 「調べて終わり」ではなく、「この情報が本当に正しいか確かめてみよう」

主体的につき合うことができれば、学びを深める強力なパートナーになるでしょう。これからの社会は、AIを上手に活用できる人が活躍すると言われています。

ドラえもんの秘密道具は、使う人自身が成長しなければ本当のハッピーエンドにはなりません。生成AIも同じです。便利だからこそ考える。速いからこそ立ち止まる。回答があるからこそ問いを立てる。そんな姿勢を大切にしながら、AI時代を生き抜く力を身に付けてほしいと思います。

私たち大人もまた、「便利さ」と「学び」のバランスを見守りながら、子どもたちとともに歩んでいきたいと思えます。

※本文を図にするよう生成AIに指示した結果、漫画のキャラクターがそのまま表現されました。学校だよりとしては著作権上問題があると判断し、修正しました(右図)。

考える力を失わないために 生成AIと、上手につきあうために
～便利さの先にあるものを考えよう～

生成AIは、私たちの学びをサポートしてくれる心強い道具です。でも、使い方を間違えると、のび太くんのように、あとで大きなことになるかもしれません。

のび太くんのいつものパターン！

① 宿題がわからない！ ② ドラえもん、お助け！ ③ やりすぎちゃってクワイアに怒られた！ ④ いつも最後は大騒動に…

便利なみつ道具に頼りすぎると、いつも最後は大騒動に…

生成AIに頼りすぎると…

宿題？ AIに聞けばいいや、おまかせください！

読書感想文？ AIが書いてくれるよ。

考えるのは面倒だから、AIにお願いしよう。

その場はうまくいくけれど…、本当に大切な何かを失っていませんか？

知っていますか？ 認知負債（にんちふさい）

AIに考える作業を任せ続けると、本来自分で考えることで育つはずだった力が、少しずつたまっていきます。これを「認知負債」といいます。

自分で考える… 考える力が落ちる。粘り強くなる。自信がなくなる。応用できない。

これは「本家の自分への借金」になります。エスカレーターばかり使っていると、体力が落ちてしまうのと同じです。

勉強の価値は、答えを知ることだけではありません

学びの中にある「大切な時間」こそが、あなたを成長させます。

悩むこと 試行錯誤すること 間違えてやり直すこと 友達と意見を交わすこと

その過程が、あなたの力になります。

生成AIは「考えるための道具」として使う！

「答えを教えて」ではなく「考えるヒントを教えて」

「文章を書いて」ではなく「もっとよくする方法を教えて」

「調べて終わり」ではなく「本当にそうなのか確かめてみよう」

自分の頭で考えるきっかけにする。

自分の表現力を高めるために使う。

批判的に考え、判断する力を身につける。

生成AIは、あなたの味方です！

使い方を正しく、学びを深める最高のパートナーになります。

中学生のみさまへ

困ったときこそ、自分の頭で考えよう！ AIは、あなたの「考える力」を伸ばすためのサポーターです。

保護者のみなさまへ

AIを使うこと自体を心配するのではなく、「何を考え、何を学び、何を失わないようにするか」をお子さんと一緒に話題にしてみてください。

地域のみさまへ

子どもたちが、AI時代をたくましく生きていけるよう、温かく見守り、支えていきましょう。

💡 AIに頼るだけでなく、AIとともに考える。考える力は、未来を切り拓く一生の宝物です。未来の主役は、あなたです！

進路説明会・学級懇談会 アンケート結果と今後の取り組みについて

1. 進路説明会について

現在の入試制度をお伝えし、親子で共通認識を持てる場として好評をいただきました。

○成果(いただいた声)

「今の受験制度がよくわかった」「親子で同じ話を聞けてよかった」「1・2年生のうちから知ることができて助かった」

○今後の取り組み

「手元資料があればもっとメモがとれた」とのご要望がありました。今後は資料の充実を図ります。また、「推薦や併願などの具体的な方法を詳しく知りたかった」という声に応え、時期に応じた情報提供をしていきます。都立高校等の正式な入試制度が発表される10月頃に、第二回の説明会を行います。



2. 学級懇談会について

保護者の皆様同士、また担任との貴重な情報交換の場となりました。

○成果(いただいた声)

グループワーク等を通して「お互いの悩みを共有・共感できた」という声や、「子どもの良いところも見てくれているとわかった」と安心する声をいただきました。

○今後の取り組み

合同開催クラス(C組)における「学年で分けた方が相談しやすかったのでは」というご指摘を踏まえ、開催形態を柔軟に検討します。また、「時間の不足」や「全体の場と個別相談の切り分け」についても内容を精査し、より有意義な時間となるよう工夫してまいります。

「参加できなかったため後日資料がほしい」とのご意見も受けました。今後は不参加の方への情報共有の方法も工夫します。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

7月の主な行事 (詳細はすぐーるで送信する月間行事予定をご覧ください)

1日(水)	三者面談・学校公開始	放学	13日(月)	生徒朝会
6日(月)	朝会、50周年記念植樹		15日(水)	放学
8日(水)		放学	16日(木)	2年移動教室保護者説明会
9日(木)	教育長トークイベント	委員会	17日(金)	全校集会
10日(金)	避難訓練		20日(月)	海の日
12日(日)	PTAバザー		21日(火)	夏季休業始

※50周年記念植樹として、7月6日にハナミズキを植える予定です。四葉の会(南中OB会)からの寄贈です。

≪沖縄の慰霊の日≫

あの日、今、これから

新聞をめくってみよう

81年前の6月23日

沖縄県では、沖縄戦の組織的戦闘が終結したとされる6月23日を、沖縄戦の戦没者の霊を慰め平和を祈る「慰霊の日」として県の条例で定め、例年、県内の公的機関や学校は休日となります。

また、沖縄県内各地で慰霊祭や追悼式典が行われ、戦没者を偲び、追悼するために、たくさんの遺族や関係者、一般市民が集まります。県全域で正午の時報とともに鳴るサイレンにあわせて1分間の黙祷を捧げ戦没者を追悼する、沖縄県民にとってとても大切な日です。

「沖縄観光情報WEBサイト」から